

- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷲沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ヒエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふきっ子的お八起代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会大会オリンピック日本代表 システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/碓田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社第一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティー
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賀さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャル/イノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員
- 第86回/越原 照夫さん 株式会社まちづくり長野 常務取締役

わいがや サロン

通信

Vol. 87
2022.12



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所



第87回 わいがやサロン
12月1日(木) 18:00~20:00 ホテル国際21 芙蓉の間

出演：
FT Naked
(エフティー・ネイキッド)

Christmas Jazz Night

上着がいらぬほど気温上昇した翌日は早や12月初日、「わいがやサロン」では恒例となってきたクリスマス・ジャズ・ナイトを開催。今回の出演者は長野市を中心に活動するFT Nakedの皆さんです。

St.Thomas/Autumn Leaves/Stardust

岩野 彰座長による挨拶が終わると照明は壇上のみ。中田さんのMC(進行役)が「今夜はノンアルコールを片手にお楽しみください。まずはお馴染みの」と言い終わるか否かにドラムスが静寂を破り、ギター、ベース、そしてサクセスとトロンボーンが加わっていきまして♪♪♪

「今、お送りしたのはジャズ界のレジェンド、ソニー・ロリンズの代表曲「セントトーマス」でした。男性的なスタイルがFT Nakedにふさわしいと思って選びました。今日から師走、並木も秋から冬の姿・・・次は誰もが知るジャズのスタンダード「オータム リーブス=枯葉」——ギターが甘く切ないイントロを奏で、やがて全員、そしてソロあるいはトリオが舞い散る枯葉を追うようについでいきます。

間髪を入れず次曲が始まります。トロンボーンが奏でたのはあの旋律!「意外かもしれませんがアメリカで最も有名で、最も録音されている曲が「スターダスト」だそうです。なかなか渋い演奏だったと思います」

ここでメンバー紹介。まず、北信東信で百戦錬磨と紹介された林 保之さんに一番好きなサクセス奏者を尋ねると「ジョン・コルトレン。この人からジャズに入りました」。トロンボーン、ボーカルのほか曲アレンジもする林 栄一さんは中田さんの中学の同級生。ギターの寺沢さんは5人中最も若手、現役バリバリの管理職で昼夜多忙ですが来長するプロとも共演多々、一番癒しを感じることは?の問いに「ロックですね。ちょっと弾いていいですか?」と爪弾いた炸裂サウンドに納得(このフレーズが衝撃だった記憶はあるもののコチトラ老人力に遮られ曲名浮かばずライブ後にご本人確認:ディープ・パープル「スモーク・オン・ザ・ウォーター」でした)。ドラムス・長谷川さんとベース・中田さんは「わいがやライブ皆勤賞」の紹介とメセナ・ビッグバンド+FTのコンサート等を告知。

*St.Thomas(1956):セントトーマスとはカリブ海に浮かぶ島の名でソニー・ロリンズ(サクセス奏者/1930~)の母方の出身地。カリブ音楽カリプソの躍動感が盛り込まれている。
*Autumn Leaves(1945):ジョセフ・コスマ作曲のシャンソンを1950年代にマイルス・デイヴィスが取り上げて以来、ジャズのスタンダードに。
*Stardust(1927):ホーギー・カーマイケル作曲。日本ではTV『シャボン玉ホリデー』(1961~72)のメに毎回回された。ザ・ビーナッツの歌唱後、ギター演奏が始まるカッコいい演出に子供だった記録担当も喜びました。

White Christmas/In My Life/Did You Call Her Today

演奏が再スタート。林 栄一さん・ボーカルがこの時季定番の「ホワイトクリスマス」をしんみり聴かせてくれました。続いてビートルズの楽曲「インマイライフ」をギター・ドラムス・ベースのトリオで、シンプルなメロディ・ラインが懐かしかったですね。

「前半最後になります。アレ?今日彼女を呼んだの? AO VIVOの彼女どうしたの?まさに、そんな曲です」♪♪♪[休憩]

*White Christmas(1941):アーヴィング・バーリン作詞・作曲。映画(1954)でビング・クロスビーが歌い大ヒット。
*In My Life(1965):ジョン・レノン作詞/作曲者名はレノン=マッカートニー。
*Did You Call Her Today:ベン・ウェブスター(作曲/テナー・sax奏者1909~73)とハリー・エディソン(tp)が演奏したバラード。

【FT Naked】

- ♪林 保之(sax) ジャズサクセスを中村誠一氏、菊池康正氏に師事。県内東北信を中心に、ライブハウス、ホテル演奏など出演多数。(フリー)
- ♪林 栄一(tb,vo) トロンボーン・ボーカルの他、ビッグバンドなどの編曲も多く手がける。(長野水産物協同組合エグゼクティブ・パート職員)
- ♪寺沢雄一郎(g) ジャズギターを角田忠雄氏に師事。国内トップ・プロミュージシャンとの共演多数。(県内企業勤務)
- ♪中田寿寛(b) ビッグバンドを中心とするジャズ演奏の他、マンドリン合奏団でも演奏。(中田事務所)
- ♪長谷川裕晃(ds) コンボ、ビッグバンドなどジャズを中心に活動中。(長野市芸術館勤務)

♪長野市芸術館ロビーコンサート、イベント等で活動しているビッグバンド「FT(ファンタイム)」メンバーの林(保)さん・林(栄)さん・中田さんに寺沢さん・長谷川さんを加えて結成した「FTネイキッド」は当夜がデビュー。ネイキッドの意を中田さんに聞けば、裸、むき出しあるいは不完全とのこと。

On Green Dolphin Street/Bay City

体温がいい感じに上がった後半はMC「ジャズ・スタンダードの中でもナンバーワン、モダン・ジャズ・プレイヤーなら一人残らずやっている曲」という“オングリーンドルフィンストリート”でスタート。ドラムスが軽快にリズムを刻むなか、他楽器ソロが主張しつつ次に継がれては集合・・・ライブ・セッションの醍醐味に会員もノリノリ。

2曲目は“ベイシティ”。「ベイシティ・ローラーズとは無関係」とあっさりMCでしたが、始まってみれば同じ旋律を繰り返すアドリブの応酬に会場が引き込まれます=プレイヤーの熱伝導率、高! 殊にウッド・ベースのタッチが野武士を思わせるという・・・ライブ後、岩野座長が話されることには中田さんが敬愛するベーシスト、チャーリー・ヘイデンの楽曲とのこと。

*On Green Dolphin Street(1947):映画『大地は怒る(Green Dolphin Street)』の挿入曲(プロニスラウ・ケイパー作曲)。マイルス・デイヴィスの録音(1958)後、ジャズ・スタンダードに。
*Bay City(1988):チャーリー・ヘイデン(1937~2014)作曲。

Beatrice/Tell Me A Bedtime Story/Vera Cruz/All of Me

「今年は国内外思いもよらぬことが起きました。9月にはエリザベス女王が亡くなり王位継承権9位となったベアトリス王女にちなんでジャズの“ベアトリス”をどうぞ。とてもいい曲です」。リズムを刻むドラミングが印象深く、沁みる曲でした。

「ジャズ界のレジェンド、ハービー・ハンコックの名曲“テルミー ベッドタイムストーリー”をギタートリオでお送りします。タイトルは色っぽい話ふうですが、子どもが父親に寝る前のお話をせがんでいる」。だからか子守歌ふうでなく、冒険に出発だ~てな感じでワクワクしました。

「次は“ブラジルの声”とも“心”とも言われているミルトン・ナシメントの曲。今のハービー・ハンコック等と共演した録音も素晴らしいです」のMC。5人の和音を楽しむうちに最高潮に達し、パッと終わるキレのよさ。

「最後の曲はあまりにも有名なスタンダード・ジャズ、“オール オブミー”を林 栄一のボーカルで締めたいと思います」♪♪♪オール オブ出席者がマスク内でも口ずさんだことでしょう。

*Beatrice(1964):サクセス奏者のサム・リバースが妻の名を冠して作曲。彼の曲で最もカバーされている。
*Tell Me A Bedtime Story(1969):ハービー・ハンコック(ピアニスト)作曲。
*Vera Cruz:ブラジル音楽界の偉人ミルトン・ナシメント(1942~)が70年代に作詞作曲。
*All Of Me(1931):ジェラルド・マークスとセイモア・シモンズが作曲したポピュラーソング。

アンコール:On The Sunny Side Of The Street

アンコールに用意されていたのは本年4月まで放映された朝ドラ「カムカムエヴリバディ」の主人公3代をつないだ“サニー サイド”。林 栄一さんのスペシャル日本語バージョン「あきらめないで、さあ歩こう 朝日が輝く、この道を・・・」♪♪♪ 温かなメッセージを渡されてお開きとなりました。

*On The Sunny Side Of The Street(1930):世界大恐慌のさなかに公演されたミュージカルの曲(ジミー・マクヒュー作曲、ドロシー・フィールズ作詞)。その後ジャズ・スタンダードに。

生の音楽を堪能しました。参加叶わなかった方々も当会報をご覧になってスウィングしてくだされれば幸いです。

